

# R I 現況報告

RI会長代理 菅 生 浩 三

1. 会長グレン E . エステス Sr.氏は、米国アラバマ州の販売コンサルタント会社の経営者であります。会長エレクト・ステンハマー氏は、スウェーデンの国際的な食品ブローカーであります。元会長ビチャイ・ラタクル氏と直前会長のマジアベ氏によって、ロータリーがサービスの原点に立ち戻ったとされていることは、よくご承知のとおりです。この路線は、エステス会長によって確実に踏襲されております。
2. 理事の数は、合計17人です。米国から6人、日本から田中作次氏と南園義一氏の2人、英国、フランス、カナダ、オランダ、インド、フィリピン、ブラジル、コロンビア、スウェーデンから各1人で、そのうち副会長が米国のジョン F . ジャーム氏、財務長がイタリアのデービッド D . モーガン氏であります。この17人の理事に、会長と会長エレクトが加わった合計19人で、理事会が構成されております。事務総長は、米国のエドウィン・フタ氏であります。
3. 2004年6月末現在、全世界のロータリアンの総数は121万1,723人、クラブ数は3万1,603、地区数は529、加盟国数は166であります。前年度に比して、クラブ数は42増加し、会員数は15,822人減少しました。なお、2004年8月末現在の女性会員数は全世界で14万6,527人、女性のクラブ会長は4,247人、女性ガバナーは48人です。わが国では、2004年6月末現在で、クラブ数は、2,328、会員数は10万3,325人となっております。2003年6月末に比して、クラブ数で4増加し、会員数で3,285人減少しました。
4. エバンストンの世界本部には、ロータリー財団を含め約400人の職員が勤務しております。ブラジル、スイス（ヨーロッパとアフリカ）、日本、韓国、インド（南アジア）、アルゼンチン（南アメリカ）、オーストラリア（南西太平洋）の7か所に事務局が置かれ、合計約100人の職員が勤務しております。最近の財政事情から合理化のため、若干人数が減っています。また、アフリカの事務局の新設が、検討されています。
5. 2002～03年度のRIの財政状況は、総収入が6,046万ドル、総支出が6,220万ドルでした。総資産は1億1,320万ドルですが、総負債2,670万ドルを差引いた純資産は8,650万ドルです。前年度に比して、収入は410万ドル上回り、支出は110万ドル下回り、総資産は460万ドル減少しました。  
2004年6月末日現在、すなわち前年度の一年間のRIの財務状況は、収入が8,010万ドル、支出は7,230万ドルでありました。収入は関西国際大会の記録的成功を反映して昨年に比べ33%、1,970万ドル、予算より12%、880万ドル多く、支出は昨年に比べ16%、1,010万ドル多く、予算より3%、230万ドル少ない結果となりました。
6. ご承知のとおり、エステス会長の本年度は、RIのテーマ「ロータリーを祝おう」と、ロータリー家族、保健、水管理、識字率向上

の四つの会長の強調事項を中心に運営されます。さらに、ロータリー百年祭に当たり、ロータリーの発展と充実の要因を着実に把握してこれを実行し得た成果を祝うと共に、次に来るべき百年間において、これらの要因に対する認識をさらに明確にし、その実現に向けての行動の強化に着手することを祝うものであります。なお、マジアベ会長の前年度は、R Iのテーマ「手を貸そう」と、ロータリー家族、貧困の軽減、保健、識字と教育の四つの会長の強調事項を中心に運営されました。さらに、ロータリー百年祭に向けての取り組みのほか、ポリオ撲滅活動、国際問題研究のためのロータリー・センター、サービスと職業奉仕への原点回帰、R I長期計画の策定、双子クラブと世界社会奉仕、人口問題、青少年問題などが、当面の課題として論議の対象に取り上げられました。

7. 会長主催会議は、R I会長が自分の構想を世界中のロータリアンに伝達するための総合的なプログラムの一部であります。前年度のマジアベ会長は、R I及び地元の負担の軽減と、的確な効果の実現を意図され、前年度は、テーマを定めて一日で終了する祝賀会議の形式を取られました。総数は15で、カナダ、メキシコ、南アフリカ、ナイジェリア、スウェーデン、韓国、フランス、英国、インド、オーストラリア、フィリピン、ブラジル、ロシアの各1と米国の2でありました。取り上げられたテーマは、職業奉仕、双子クラブと世界社会奉仕、保健問題、人口問題、平和と寛容、ロータリー財団、国内委員会、ロータリーセンター、水問題、R Y L A、貧困の緩和、ローターアクトと青少年交換、識字率と教育、ロータリー家族など、当面のロータリーの課題を網羅しております。
8. 前年度に実施されたロータリー・ゾーン研究会は18で、そのうち米国の6、ブラジル、カナダ、メキシコ、韓国、ペルー、シンガポール、ガーナ、オーストラリア、スイス、ニュージーランド、日本、インドの各1でした。そのうち、わが国の1、2、3、4(A)ゾーンの第32回ロータリー・ゾーン研究会は、2003年11月27日から同月30日の間に、新高輪プリンスホテル国際館パミールで開催されました。現時のR Iが当面する右の重要課題の殆どを、報告と分科討論の形式で取り上げましたことは、ご承知のとおりであります。
9. R Iでは、各地域のロータリー人口の変動に対応するため、特別委員会を設けてゾーンの変更を検討中であります。米国の内部でも増減があり、インド、韓国、ヨーロッパ、わが国などが検討の対象となっております。ただ、財政上の債務不履行クラブが多いために、慎重な検討が必要であろうとされております。1ゾーン35,000人が目処ですから、わが国は近い将来3.5ゾーンから3ゾーンに改編される可能性が高いと思います。
10. 2002年11月の理事会で決定された会員退会防止パイロット・プロジェクトは、前年度から開始されています。1ゾーンから3クラブずつ合計102クラブを選び、各クラブがR Iが決定する実行計画に従い三年の期間内に退会防止に必要な事項を実行してその効果を確認するというものであります。わが国からは、盛岡(2520)、福島南(2530)、鈴鹿西(2630)、津山(2690)、広島南東(2710)、名古屋大須(2760)、浦和東(2770)

横須賀（２７８０）、土浦（２８２０）の９クラブが選ばれております。

11. わが国では、このＲＩのパイロット・プロジェクトとは別に、会員増強モデルクラブの計画を本年度から実施しております。わが国の会員数減少は、サービスの理念や地域社会との関連が希薄であること、若い会員や女性会員の入会が困難であるなどの諸点につき、沿革的、社会的、構造的に特異な原因があると考えられますので、わが国独自の計画的努力が必要であると考えられるからであります。各地区ごとに一つずつのクラブを選定し、ガバナー、ガバナー補佐、会員増強コーディネーターの皆様の密接な連絡をもとに、１年間これらの問題を解決する努力を払い、次にまた新しいクラブを選定してこれを３年間繰り返すというものであります。既に初年度のクラブの選定も終了し、計画を実行中であります。
12. ２００３年９月２５日、２６日の両日、千葉の東京ベイホテル東急で、第七回日韓親善会議が開催されました。前回の会議ののち９年の空白を経て開催されましたが、１，２００人に及ぶ両国の会員と家族が参集する盛況で、マジリアベ会長の提唱されたロータリー家族が、東アジアで実現する会議となりました。会議は、初めて日韓両国語を用いて進行し、過去を厳しく見つめることが必要とする意見から、韓国における歴史教育に拘わらず現実の日本社会の温かい公正な現状を指摘して、将来に向けて新たな協調の必要を強調する意見に至るまで、色々な意見が隔意なく論ぜられ、収穫の多い会合でありました。
13. ２００４年国際協議会は、全世界から５２９地区のガバナー・エレクトと多数のシニア・リーダーおよび配偶者参加のもとに、２００４年２月１９日から同月２２日までの間、アナハイム・ヒルトンホテルにおいて開催されました。現時のＲＩが直面する右の重要問題に関する数多くの基調講演、講演、パネル討論などを含む１１回にわたる本会議と１６回にわたるグループ討論のほか、配偶者のプログラムとして、３回にわたる本会議と円卓討論が実施されました。
14. 国際研究会は、関西国際大会直前の５月２０日から５月２２日までの間、大阪国際会議場において、小谷隆一国際研究会委員長の企画運営のもとに実施されました。各種講演と出席者との公開討論フォーラムを含む前後６回にわたる本会議と、８つの重要課題を巡るグループ討論、２つの日本語によるグループ討論などが実施されました。
15. 関西国際大会は、５月２３日から５月２６日までの間、大阪ドーム、大阪国際会議場及びリーガロイヤルホテルにおいて開催されました。千玄室国際大会委員長ご統括のもと、近藤雅臣委員長、吉川謹司事務総長、井上暎夫財務長はじめ、ホスト組織実行委員会の皆様のご尽力により、４万６千名に及ぶ全世界のロータリアンの参加を得て実施されました。質量ともに正に空前の国際大会となりましたことは、ご承知のとおりであります。この大会を機に、ＲＩをはじめ世界中のロータリアンの、日本のロータリーとその背景であります日本の文化や社会を眺める目がはっきりと変わったことが実感されます。なお、今後の国際大会は、２００５年が米国のシカゴ、

2006年がスウェーデンのマルモとデンマークのコペンハーゲン、2007年が米国のニューオーリンズ、2008年が米国のロサンゼルス、2009年が韓国のソウル、2010年がカナダのモントリオールで、2011年がアフリカのカイロまたは米国内の都市で開催される予定であります。

16. 2004年規定審議会は、引き続き6月13日から18日の間シカゴ・マリOTTホテルにおいて開催されました。476の立法案が提出され、制定案250のうち50と、決議案226のうち50が採択されました。採択された制定案には、RIの目的を改正してRIがクラブと地区を支援することを追加する 人頭分担当金を3年間に4ドルずつ合計12ドル増額する ロータリー財団管理委員の数を13から15に増やす 会長及び会長エレクトに対する謝意の表明の条項を削除して事務総長を報酬を受ける唯一の役員とする 一定の条件をもとにクラブの合併を認める PETSと地区協議会を欠席した会長エレクトから会長になる資格を剥奪する、などがあります。また、採択された決議案には、長期計画の目標及び項目として、ポリオ撲滅、各種プログラムの重点の所在の明確化、新しいRIプログラムの選定、管理と指導の組織の再構築、すべてのレベルにおける訓練と教育の強化、会員組織の拡大と均質化、公共イメージの高揚の7項目を提示する RIの第2標語から性別限定用語を削除してHeをTheyとする ロータリー世界平和奨学生を開発途上国から多く採用するように努める 地区大会の会長代理は地区要請があった場合に限り地区の費用で派遣するように方針を改正する マンダリン語(標準中国語)を公式言語に含めるように要請する 職業の倫理的規範の高揚を促す 歴史的に重要な声明や文書の原文の用語を保存することを考慮する 8歳から14歳までの子供のための青少年クラブを作る ロータリー・リーダーシップ研究会を試験的プログラムに採択するよう要請する、などがあります。RIの標語は第1標語のみであるとして第2標語の廃止を求める制定案は、日本の代表議員の皆様のご断固とした反対意見により、70%に近い多数で否決されました。全般的に日本語による発言が増加し、注目されました。私もRI理事会の提案を一つ担当したが、これも日本語で提案し、95%の賛成を得ました。数多くのわが国の代表議員が日本語で堂々と意見を発表され、他国の代表議員全員が同時通訳で一生懸命にその発言を聞いておられました。マンダリン語採択決議案は、台湾の代表委員がしっかりした日本語で提案され、日本の代表委員から日本語で支持が表明され、76%を超える多数で採択されたのが印象的でありました。これも、関西国際大会成功の成果の一つであろうと思われます。

17. 2004~05年度はロータリー百年の年であります。この特別な年度については特別委員会が設けられ、数々の記念の行事や企画がされております。先ず、2005年の2月23日は、ロータリー百周年の誕生日自体にあります。地元における盛大な祝賀行事をはじめ、世界中で特別なクラブ会合や都市間の会合が開催されるように推奨されております。また、シカゴ国際大会は、2005年6月18日から22日までの間、シカゴ市のマコーミック・プレイスで開催されますが、この大会は、百周年記念の国際大会であります。そこで、特別晩餐会、百周年パレード、ホーム懇親会、ロータリーの過去、現在、未来をテーマとした会議などが企画されています。

さらに、百周年を祝賀する計画として、色々な行事や企画がされており、その主なものを挙げますと、ツイン・クラブ、百周年の鐘、百年史、ポスター・コンテスト、ブース、記念切手、「超我の奉仕」ボランティア月間、子供たちの公園と遊び場の設置、ロータリー・フェロシップの参加、第1回ロータリー会合のレプリカの制作頒布、ロータリー百周年のドキュメンタリー番組の制作、ワン・ロータリー・センターにおける歴史の展示、百周年ソングの作曲、平和シンポジウムの開催、世界中のクラブの百周年地域社会プロジェクトなどであります。

18. 2003～2004年度のRI理事会は、2003年6月5日オーストラリアのプリズベンで、9月29日から10月3日まで、2004年2月23日から28日まで、6月5日から10日まで、それぞれエバンストンで開催されました。取り上げられた主な議題を挙げますと、RIの目的の改正 ビジネスと専門職の倫理の高揚 長期計画の目標と目的 RIビジョン声明の改訂 2004～05年度会長強調事項と会長祝賀会議及びロータリー・ゾーン研究会の論題 会員増強と退会防止 RI名誉賞 世界理解と平和賞 ロータリー百周年をめぐる諸問題 2011年度及び2012年度の国際大会開催地と今後の国際大会準備の進行状況 国際大会及び国際協議会のマニュアルの改訂 投資の方針と投資の現状 財務5か年の予測 ローターアクト・クラブ ロータリー地域共同体 世界社会奉仕資源ネットワークをめぐる問題 世界理解及び平和のためのロータリー奨学生選択の手續 新モデルクラブとサイバークラブの試験的プロジェクトの現状 親睦活動と他の組織との関係 青少年交換プログラムにおける児童保護と虐待予防並びに旅行保険問題 地区の合併と再編成 アフリカのRI国際事務局の設立問題 マルチ地区PETS 規定審議会の立法案への対応と理事会提案の作成 ロータリー地域雑誌のためのガイドライン 提携カードプログラムの拡大 世界問題委員会と国家間委員会の報告事項 非ロータリー諸国へのロータリーの拡大 ヨーロピア・ロシアにおける試験的地区 キプロスにおけるロータリーの開発 コーカサスと中央アジアでのクラブのグループ作り 2004～05年度理事指名委員会の招集者と開催地の指定、などでありました。

## 地区大会 大会決議

[決議第1号] 2004～2005年度国際ロータリー、テーマ実践に関する件  
2004～2005年度国際ロータリー会長グレンE.エステスSr.氏は、本年度のテーマとして、「ロータリーを祝おう」を提唱されました。国際ロータリー第2650地区ロータリアンは、このテーマを理解し、ロータリー100周年を意義ある年にすべく、積極的な実践活動を展開して参りました。そして、奉仕の第二世紀に向けて、更にロータリーの可能性を高め、奉仕への新しい挑戦に取り組み、創意と工夫を加えて奉仕活動に献身することを、ここに決議します。

[決議第2号] 国際ロータリー会長に対する感謝の件  
国際ロータリー第2650地区2004～2005年度地区大会を敦賀市で開催するにあたり、グレンE.エステスSr.会長はアドレス並びに国際ロータリー現況報告のほか、温かいご指導とご支援を賜り、参加者全員に深い感銘を与えられましたことに対し、心からの敬意と感謝の意を表することを、ここに決議いたします。

[決議第3号] 国際ロータリー会長代理に対する感謝の件  
直前RI理事菅生浩三氏には、国際ロータリー会長代理として、令夫人ご同伴の上、地区大会にご臨席賜り、アドレス並びに現況報告のほか、温かいご指導とご支援を賜りましたことに対し、心からの敬意と感謝の意を表することを、ここに決議します。

[決議第4号] 国際ロータリー第2650地区直前ガバナーに対する感謝の件  
国際ロータリー第2650地区福井正典直前ガバナーには、2003～2004年度国際ロータリーのテーマ「手を貸そう」のもと、地区のテーマ「楽しく・素直に・美しく」を掲げられ、地区の奉仕活動を力強く推進されました。特に、ポリオプラス活動においては、ラオスにおけるWCSミッション活動を指導し、関西4地区がホストになった第95回国際ロータリー年次大会ではホスト地区ガバナーとして中心的な役割を果たし、大会を成功裏に導かれました。また、個人大口寄付者としてロータリー財団にも大きく貢献され、日本人として4番目の「アーチ・クランフ・ギャラリー（榮譽ある殿堂）」入りを果たされました。これらの功績に対し、深甚なる敬意と謝意を表することを、ここに決議します。

[決議第5号] ガバナーノミニー確定宣言歓迎の件  
京都洛中ロータリークラブ平井義久会員の国際ロータリー第2650地区2006～2007年度ガバナーノミニー確定宣言を歓迎することを、ここに決議します。

[決議第6号] 2007年国際ロータリー規定審議会代表議員、補欠議員選任の件  
2007年国際ロータリー規定審議会代表議員は宮崎茂和パストガバナーに、補欠議員は西村二郎パストガバナーに決定されたことを承認し歓迎することを、ここに決議します。

[決議第7号] 2003～2004年度地区年次財務監査報告書承認の件  
国際ロータリー細則第15条60節4項の規定により、国際ロータリー第2650地区2003～2004年度地区年次財務監査報告書を承認することを、ここに決議します。

## 地区大会 大会決議

[決議第8号] 2005～2006年度研究グループ交換実施の件  
2005～2006年度において、国際ロータリー第1850地区ドイツ（ブレーメン市）と当地区の間で交換を実施することを承認し、地区内全クラブがこれに協力することを、ここに決議します。

[決議第9号] ロータリー友情交換プログラム実施の件  
国際交流委員会は2005～2006年度国際ロータリー第2040地区（イタリア ミラノ地域）との友情交換プログラムを実施し、両地区の地区大会への参加を通して、両国の国際親善と文化の交流および友情を温め合うことを、ここに決議します。

[決議第10号] パプアニューギニア ラバウルにおける世界社会奉仕活動に協力する件  
地区世界社会奉仕委員会では、2005年1月16日より1月23日まで、パプアニューギニア ラバウルにおけるポリオプラス活動および人道的支援活動を計画しております。国際ロータリー第2650地区は、この活動を積極的に推進するとともに、今後も国際奉仕活動に貢献することを、ここに決議します。

[決議第11号] 2005年シカゴ国際年次大会への参加に協力する件  
2005年6月18日から22日まで、米国、シカゴで開催される国際ロータリー年次大会に参加、協力することを、ここに決議します。

[決議第12号] 国際ロータリー第2650地区ロータリー100周年記念会員大会に参加する件  
ロータリー100周年を祝い、2005年4月10日京都において開催される、国際ロータリー第2650地区ロータリー100周年記念会員大会に参加、協力することを、ここに決議します。

[決議第13号] 第2650地区、地区大会開催地に対する感謝の件  
国際ロータリー第2650地区2004～2005年度地区大会を開催するにあたり、福井県民および敦賀市民の皆様には、ロータリー奉仕活動に深いご理解と多大なご支援を賜りましたことに対し、心から感謝の意を表することを、ここに決議します。

[決議第14号] 地区大会ホスト、コ・ホストクラブに対する感謝の件  
ホストクラブ敦賀ロータリークラブ、コ・ホストクラブ若狭ロータリークラブおよび敦賀西ロータリークラブの会員並びにそのご家族の皆様には心からの敬意と感謝の意を表することを、ここに決議します。

[決議第15号] 次年度地区大会開催の件  
国際ロータリー第2650地区2005～2006年度地区大会は、2006年4月15日（土）、16日（日）京都西南ロータリークラブをホスト、京都桂川ロータリークラブをコ・ホストとして国立京都国際会館において開催することを、ここに決議します。